

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2370200418
事業所名	グループホームちから館とくがわ

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 地域住民と顔なじみの関係づくりがあり、町内会に加入し、散歩時などでの声かけ挨拶交流がある。 施設の多目的スペースを活用し、専門学校の生徒とカレンダーづくりなど行っていた。 コロナ感染症のため活動が制限されているが、毎月学生よりカレンダーが届き交流がある。非常災害時での地域協力体制を構築している。	評価	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 民生委員、町内会長、子会長、かかわり区、看護師、いさいき支援センター等の参加で 報告、情報交換、勉強会など開催している。 自粛期間中は、文書での報告、意見照会を行い情報の共有意見の集約に努めている、 自粛期間後の地域協力、活動などでの意見交換もあり、推進会議の活用を図っている。	評価	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 「ちから館だより」を毎月介護保険課へ届けに出向き、交流、意見交換など行っている。 市職員と顔が分かる交流を行い、各種対応、不明点、区役所、市役所との連携を深めている。	評価	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 来訪時での要望意見収集、電話での連絡など行い対応の迅速化を目指し運営している。 現況報告、共有を毎月の「ちから館だより」などで行い、アンケートを取るなど家族意見の収集に努め、運営に反映している。	評価	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価	
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	評価	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	評価	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価	○
総合評価		評価	○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価	—	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○										

備考欄

--